

## ■ サプライヤーとのかかわり

### サプライヤーに対する基本的な考え方

理想科学は、環境に配慮した製品を開発、生産、販売、リサイクルするために、環境負荷の少ない部品、原材料などの調達を推進しています。調達先であるサプライヤーに対しては、環境関連法・条例などの遵守はもちろん、当社の「理想科学グループ グリーン調達基準」に則った環境関連物質の規制遵守を求めています。サプライヤーとのパートナーシップによって、安定した環境保全の実現を目指しています。

### 調達に関する取り組み

#### ■ サプライヤー、調達品に対する品質基準

当社では、製品を構成する部品、原材料、補助材(生産の際に使用する接着剤、はんだ、塗料など)を納入するサプライヤーに対し、ISO14001などの環境マネジメントシステムの構築と運用を求めています。また、エコステージ\*の認証取得を支援しています。納入する部品、原材料、補助材については、

「理想科学グループ グリーン調達基準」を定め、環境関連法・条例などの遵守、当社の環境関連物質の規制への遵守を求めています。

\*エコステージ:環境マネジメントシステムの一つ。一般社団法人エコステージ協会が評価・認証を行っています。

#### ■ 有害なものを入れない、使わない、つぐらない

「有害化学物質を含有している物を納入させない。製造工程において使用させない」という基本姿勢のもと、環境法規制にも対応した「理想科学グループ グリーン調達基準」を2005年に制定し、含有化学物質情報のデータベース登録、納入時の抜き取り検査を行っています。2008年度からは、取引先への「グリーン調達監査」を実施し、グリーン調達基準で要求している化学物質の管理基準への対応状況

を確認しています。2010年度はREACH規制\*の改定のほか世界各国での環境規制に対応するため、「理想科学グループ グリーン調達基準」を改版し、順法性・環境負荷を考慮した製品化学物質の管理を強化しました。

\*REACH規制:EU(欧州連合)における化学物質の登録・評価・認可・制限に関する規制。化学物質をその量に応じて適正に登録・管理することが求められ、物質の安全性に応じた管理レベルが要求されています。

#### ■ 不適合品が発生した場合の対策

使用禁止物質などによる不適合品が発生、あるいは納入された疑いが出た場合は、直ちに当社に報告し、流出防止、再発防止に努めることを求めています。

サプライヤーから不適合情報を受け取った場合は、直ちに社内で情報を共有し、必要な調査・処置を行うとともに、万一品質や安全にかかわる製品が市場に流出した場合は、ホームページや他のメディアを通じてお客様に伝えるしくみを定め、運用しています。



サプライヤーに向けた「理想科学グループ グリーン調達基準」説明会を開催